

訓練だけじゃない！学ぶ、体験する、

地域が協力し、災害から身を守ることは自治会活動の中で最も重要なことです。

大地震はいつ起こっても不思議ではありません。その時公共機関は、広域にわたって被害が広がっている中ではつくし野だけに救助の手を差し伸べることはできません。大地震が起きた直後は、一人ひとりが自らを守ること（自助）、訓練を積み重ねた自治会や、地域の住民が協力すること（共助）がつくし野地域を守ることに繋がります。

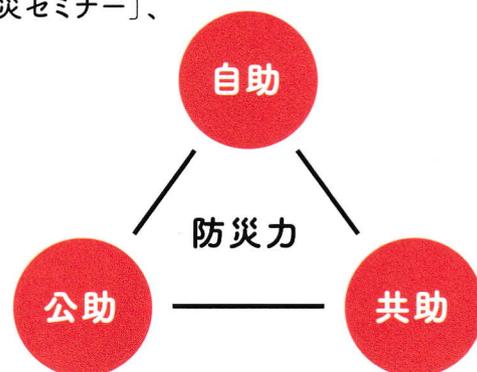
防災訓練は、大地震が起きた直後にどのように行動すれば良いのか、を体験する機会ですが、

今年度から名称も「つくし野防災デー」に変更し、従来の防災訓練に加え「防災セミナー」、

「防災グッズ展示」、「木造住宅耐震相談会」など

学んだり、体験したり、触れたり、相談できる新しい催しを計画しました。

多くの皆さまの参加をお待ちしています！



繰り返すことに意義がある！

防災訓練

校庭 雨天時は中止

初期消火
訓練



スタンド
パイプ訓練

アルファ化米
炊出し訓練

応急救護
訓練

マンホール
トイレ設置

AED
訓練



応急給水栓
見学

避難をカイトキに！

避難所生活体験

体育館 雨天時も開催

大地震が起きた時、自宅に居続けることが困難な人が出ることが想定されますが、その場合、学校の体育館などが避難所として利用されることになります。

エアマット、毛布、テント、間仕切りなどを使って、避難所生活を体験してみましょう。



町田市の巨大地震の発生予測

(東京都防災会議 2022年発表)

多摩東部直下地震（震度6弱～6強）30年以内の発生確率70%

南海トラフ巨大地震（震度5強）30年以内の発生確率70%～80%